

# 同窓会だより

●発行  
**千葉県立船橋高等学校同窓会**  
 〒273-0002 千葉県船橋市東船橋6-1-1  
 ホームページ <http://www.dosokai.ne.jp/kenfuna/>  
 E-mail funaobog@gmail.com

●印刷 (株)サラト  
 姫路市北条宮の町172番地  
 TEL 079-284-1380

題字／小原天簫先生



## コロナ禍の学校生活



写真提供：(株)学校写真

### 母校はいま

生徒たちは、本校の校舎をたどると、「サグラダファミリア」と呼んでいる。あれは数年前の夏の出来事だった。階段の改修工事が入り、天井部分のコンクリートがすべて剥がれていたのだ。誰もか、すぐ化粧工事をやるものとはわかってはいたのだが、予算の関係とやらで、補修工事は行われなかった。その後ずっと、今日まで、コンクリートの「打ち直し」と言えは何かと、恰好いいが、本物の場合「打ち直し」ではなく、「はがし直し」だから、そんなしやれた感じにはならない。むき出しになってしまったコンクリートからは、ところどころ木片や布などが見え隠れしていて、それはまるで「廃墟」のようなありさまだ。しかも、破片落下防止のために、ブルーのネットが張られたりして、廃墟は更にアップした。そんな様子をとらえて、生徒たちは、「サグラダファミリア」と表現している。さすがは、船橋の生徒たちだ。自虐ネタもセンスがいい。まあ、「ポロは着て心の錦。箱モノがどうあれそこに集う生徒は錦。ごんな花よりきれいだぜ」という唄曲もあったし、気長に大改修を待つとしよう。

さて、箱モノの話はほとんどかく、昨年から続いているコロナ禍における本校生徒の状況について記しておこう。令和2年の正月は、いつも通りの幕開けだった。当時1年生のクラス担任だった私は、庭に咲いていたラウライを教室に持参し、生徒と一緒にその華やかな香りを楽しむなど、牧歌的で幸せな日々を送っていた。ところが、それもつかの間。コロナの拡大によって、3月からは突然「二斉休校」となり、学校生活も一変した。1年生のクラスの最後を閉じる間もなく、4月からは休校のまま新学期がスタート。休校期間中のクラス替えがあった。2年生の新クラスは、しばらく自宅学習期間が続く。6月になってからようやく登校が再開した。最初の2週間は、出席番号の偶数・奇数でクラスを半分に分けての分散登校だった。この、クラスを2分しての分散登校は、同じ授業を各クラスで2回ずつ実施することを意味する。当時、普通科8クラスを担当していた私は、同じ授業を16回ずつやるといって、これまでにならぬ経験をすることになった。同じ話を16回もするのだ。しかもマスクを着用しているから、声を張らなければならぬ。生徒も教職員も、本校創立百周年の記念すべきその年に、かつて経験したことのないさまざまな対応を余儀なくされた。その年のたちばな祭は中止となり、部活動も大きく制限された。秋に予定されていた百周年記念式典も、当初の計画とは違ってリモート開催となった。ただひとつ、2年生の担任として本日に幸せられた。多くの高校が、いち早く中止を発表して、流れの中にあつて、本校はきりぎりまで実現できる道筋を模索していった。同窓生の皆様がご存じの「御殿荘」への宿泊は、数人ずつ泊泊するのだから、半分ずつ交互に入れ替えての分宿だ。当時は「度、GoToトラベルのキャンペーン」期間中にあつており、予算もクリア。しかも、インバンドや観光客の少ない、ゆつ

同窓生&在校生	
(令和3年10月1日現在)	
同窓会会員総数	35,570人
名簿登録数	35,189人
内全日制	28,664人 (中学含む)
定時制	5,333人 (農業科含む)
旧職員	1,192人
住所不明者数	11,929人
在校生	
全日制	男626人 女452人 計1,078人
定時制	男132人 女78人 計210人
教職員	全日制85人 定時制30人 (内同窓生12人) 計115人

たりした京都の旅になった。これだけは不幸中の幸いで、コロナもなく、東京オリンピックも通常通り開催されていたとしたら、インバンドどころか大混雑だったに違いない。クラス担任として、教職最後の修学旅行の引率だったこともあり、今こうして書いていても、さまざまな場面が思い出されて感概深い。

修学旅行から帰ってきてからは、コロナの感染者が出ないことをひたすら祈るのみであったが、一人も出ることはなかった。修学旅行団の団長は、高校時代に同年代だった酒匂一揮校長。コロナの感染状況が見通せない中、色々難しい判断もあったと思う。また、旅行の引率中も、生徒たちへの対応で大変お世話になった。ちなみに同じ学年団には、3年生のときに同級生だった眞正裕君もいる。眞君とは、文系物理クラスという、ちょっと変わったクラスで、緒だつた。高校時代の同級生が、共に母校に勤めている。3人と、今年で定年退職となる。

さて、今年(令和3年)のたちばな祭は、一般客を入れずに、校内だけの開催となり、9月下旬に予定されていた球技大会は、中止が決まった。この原稿を書いている9月現在、「緊急事態宣言」の解除が発表されたが、まだまだ予断を許さない状況は続いている。

夏休みが明けてから、1・2年生は、一日おきに登校することになり、登校しない方の学年は、リモート授業を実施することになった。3年生は全て対面授業だが、いつもより時間を遅らせての時差通学だ。いずれも45分間の短縮授業。私を含めてリモート授業に慣れない教職員も、短手の同僚たちからあれこれ教わり、何とか時代の波に乗ろうと努力している。

私は、定年退職の年に、母校で3年生の担任をやらせてもらえるという幸運に恵まれた。しかも、最近の生徒たちは、ますます、素直で、優しく、しなやかだ。あまりに素直なので、いつか悪い大人に騙されやしないか心配になることもあるが、きっと教習でクリアしていくのだろうと信じている。生徒の卒業と私の定年まで、あと半年あまりとなった。コロナ禍の制約も統ていくと思うが、母校の生徒たちと共に過ごせる時間を大切に、その喜びを深く心に刻んでいきたい。

公民科 教諭 中松 道夫(昭和55年卒)  
 御水前寺清子(っぼん)の唄、慣用句(広辞苑)は「襦袢は着ても心は錦」



# 就任にあたって



同窓会会長  
島崎 喜一 (昭和48年生)

昨年の総会にてご承認いただき本年4月会長に就任いたしました。  
奇しくも昭和45年(1970年)船橋高等学校創立50周年の年に入学、当時を思い返すと驚天動地とも思えてなりません。同窓会運営には創立80周年記念事業の準備段階から参画させていただいておりますので、経験を活かして職務に邁進してまいります。会員の皆様にはご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、ご承知のように、コロナ禍にあつて同窓会も大きな制約を受け、昨年春の同窓会等主要な行事を中止し、今年度は総会の開催も見送りました。本来であれば母校百周年を皆さんと共に祝うこともできたかと思ひ、空白ともいえる2年に及ぶ我慢の時間は残念でなりません。

しかし、現時点で先行きに一筋の光が見え始めており、同窓会だよりがお手元に届く頃には必ずや明るい展望が開けているものと信じております。コロナ禍の後を語ることは難しいと思ひますが、まずは何としても「今まで通りの同窓会」を取り戻すことを目指したいと思つております。

何よりも「会員相互の親睦を深め、併せて母校の発展と充実に寄与すること」を目的とした同窓会の在り様を念頭に、会員の皆さんと共に母校を語り合い、母校船橋と在校生へ大きな声援を送る場を取り戻したいと思つております。

換言すれば同窓会の再起動でしょうか、是非ともご賛同いただき、お力添え賜りたく存じます。母校船橋も否応なしの制約下に置かれておりますが、学び舎を守り、在校生の充実した学校生活を維持するため、先生方の工夫と努力が学校を挙げて続けられております。困難な中にあつても在校生の皆さんが充実した高校生活を送つていただけるよう願つてやみません。

校長先生はじめ先生方に感謝申し上げます、船橋生ががんばれと在校の皆さんにエールを送り、就任にあつたての挨拶とさせていただきます。

# 船高変革期



千葉県立船橋高等学校  
校長 酒匂 一揮

同窓会の皆様には、日ごろから本校の教育活動への御支援、御協力を賜りますことに、心より感謝申し上げます。また、昨年の11月18日(水)に、本校第一会議室を会場とし、オンラインで開催いたしました百周年記念式典につきましては、多くの会員の皆様に御視聴いただき、盛大に開催できました。同窓会役員の皆様をはじめ、関係者の方々は、御尽力をいただきましたこと、誠にありがとうございました。

本校の現状につきましては、度重なる緊急事態宣言及び宣言延長が発令される中、全日制では国立大学合格者が県下で最多となるめざましい進路実績をあげた一昨年度に匹敵する進路実績をあげ、「船高」の名を全国に轟かせました。在校生においては、昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止により中止となつた部活動の各大会が行われ、放送委員会が全国大会に、陸上部、合唱部、ワンダーフオーゲル部が関東大会に進出しました。野球部においては、春の大会でベスト4に輝くなど、各部の活躍は、船高ここにありと、船高の名を全国的にも響かせることとなりました。校内においては、校内公開ではありましたが、たばな祭が開催できたことが一番嬉しいニュースです。

令和4年度から、本校は大きな変革期を迎えることとなります。

①定時制が行徳高校定時制と統合  
行徳高校定時制第2、4年次生徒が本校に通学していただくことになり、本校の生徒とは別クラスで学習します。卒業証書に記載される学校名は船橋高校となることから、同窓会の一員となります。また、統合により、定時制は普通科から総合学科となり、新1年生は総合学科第一期生となります。

②全日制土曜授業から平日45分7限授業へ  
学習指導要領の改訂を機会とし、全日制では、10年間継続した土曜授業を解消して45分授業を展開していきます。これにより、授業時間を週

32コマから35コマに増加することで、学習の充実を図つてまいります。

③校舎改修工事開始  
県有建物長寿命化計画による大規模改修工事が開始されます。令和4年度には武道場の改修工事を始めるとともに、校舎近くのグラウンドに仮設校舎を建設します。令和5年度には、理科実験室や芸術教室などを仮設校舎内に移転し、南館及び新館の改修工事に着手することになります。

④SSH第3期総括  
平成21年度から3期連続で指定を受けているSSH(スーパーサイエンスハイスクール)において、千葉県の、そして日本の理数教育を牽引するべく、全職員一丸となつて取り組んできた総括として、これまでの事業の成果と課題を検証するとともに、文部科学省に提出する報告書を作成してまいります。

以上のように、生徒たちにとって、よりよい学習環境の構築に向け、船高は大きく変わろうとしています。同窓会会員の皆様方には、さらなる母校への御支援と御協力をよろしくお願い申し上げます。

本年度、定時制教頭として着任しました横田と申します。

県立船橋高校は、昨年創立百周年を迎え、働きながら通う人や学習の遅れを取り戻したい人など様々な方が学ぶ夜間定時制は80年近くの歴史を誇ります。県内屈指の伝統校として、全日制・定時制への多様なニーズにお応えして参りましたのは、ひとえに同窓会の皆様お一人一人のおかげです。心から感謝申し上げます。

さて、定時制においては、来年度の令和4年度に、県立行徳高校定時制と統合し、県内初の「定時制総合学科」として新たなスタートを切りま



定時制教頭 横田 弘之

# ご挨拶



教頭 山田 裕一

今年度4月より教頭として着任いたしました山田です。よろしくお願ひいたします。同窓生の皆様には、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

県立船橋高校は、創立百年の節目を通り、第二世紀へ歩み始めた県内屈指の伝統校として多くの期待を受けております。これは、各界で御活躍される諸先輩方と、その姿を模範とし切磋琢磨する後進の努力の成果であると確信しております。

現在本校は、文部科学省からスーパーサイエンスハイスクールの指定を受けています。これは、激しく変化する社会で活躍するために必要な、未知なる物事への探究力や質の高い学力を育成する事業です。これらの取組は着実に実を結び、生徒の探究する姿勢や進路実績という形で成果として顕れて

います。今後学習指導、生活指導、進路指導の一層の充実と教育環境の整備に努め、本校の更なる発展に向けて、教職員一同で力を合わせて参りますので、今後とも御支援と御協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



船高の歴史(二六)

千葉健吉・私立船橋中学校から私立船橋中学校・財団法人船橋中学校後援会頼母子会

船橋町と私立船橋中学校

小川信雄(元千葉県立千葉高校教諭、一九六三年卒業)

一〇二(二)合組(三年三月)千葉県立船橋高等学校百年史(千葉県立船橋高等学校百年史編纂部編、同創立百周年記念事業実行委員会発行)が発行された。これは百年史編纂委員長山田敬明先生を中心となつて全日制・定時制の教員の研究・努力によって完成を見たものである。その編纂の過程で船橋大神宮宮司の千葉氏から、未発見であった千葉健吉(私立船橋中学校長)関係の文書が提供された。この文書は私自身も初見であった。この文書によって千葉健吉(財団法人私立船橋中学校)の歴史をまとめてみたい。

一九〇〇年代半ばまで船橋とその周辺地域から中学校進学を考えたならば、千葉町の県立千葉中学校(現千葉県立船橋高等学校)か東京府の府立第三中学校(現千葉県立高野高等学校)に進学するしかなかった。この大正期(一九一二年)という時代は、民衆の台頭した時代である。自由主義をはじめとして民主主義、無政府主義やマルクス主義の社会主義、農本主義、国家社会主義な様々な思想・思潮が一斉に登場した時代としても記憶される。生活様式や風俗においても昭和初期の毛布・毛革に表現されたアメリカ文化に強い憧れをもった大衆文化が都市を中心としてさかんになったことも、この時代の特徴である(鹿野野直史論集「大正モラロジー」、民間学第一巻、一九〇七年三月に所収岩波書店)。千葉町の教育でも千葉師範学校(現千葉大学教育学部)の手塚岸衛の自教育が始められたのは一九一八年からであった。

こうした社会状況のなか、東芝近郊に位置した船橋町江戸時代末期刊行の「江戸名所図説」で江戸近郊の東端に登場するのは船橋である。その周辺においても中等教育の要求が生まれてきた。この要求に応えたのが船橋私立船橋(船橋)は後に私立船橋高等女学校校長、同校は私立船橋学園女子高等学校、現私立船橋学園東葉高等学校)の設立した「私塾東葉学校(一九一八年、大正七年)である。船橋大神宮東隣の庄左衛門家の間を借用し、十数名の生徒で開始されたもの。目的は明確でなかったためか、生徒数は減少した。この私塾を受け継ぎ発展させた人物が船橋大神宮宮司だった千葉健吉であった。

千葉健吉は、一八七二(明治五年)三月三日に千葉県東葛飾郡船橋町五日市(六〇番地)に生まれ、一八八八(明治二十一年)三月、船橋高等小学校を卒業した(一八八〇(明治十三年)三月、七年の間、英語を正則英語学校現正則南葛飾高等学校に学んだ。最初に本格的に英語を学んだことは重要で、知識・教養を身につけた)。一八八七(明治二十年)三月三日に千葉県東葛飾郡船橋町五日市(六〇番地)に生まれ、一八八八(明治二十一年)三月、船橋高等小学校を卒業した(一八八〇(明治十三年)三月、七年の間、英語を正則英語学校現正則南葛飾高等学校に学んだ。最初に本格的に英語を学んだことは重要で、知識・教養を身につけた)。

かま当時、積極的に外国語の中等教育を受けようとしたことは評価出来ることである。一方で正則予備学校に学び、さらに漢語を習文(しんぶん)学会(現船橋大学)で修学した。一九〇四(明治三十七年)七月に皇典講究所(現船橋大学)において、第三回神祇講習会を終了して五等書生に選ばれた。そして一九〇六(明治四十一年)に千葉県東葛飾郡船橋町に本社を置く「神社の社掌」として(意富比社)と船橋大神宮の社掌として同社は「延喜式神祇帳(一九〇七)に記載されている、いわゆる式内社である。その後、現船橋市内や松戸市内の村社(以上)の社掌を兼務し、一九一六(大正五年)二月にまたも県社意富比社社掌の社掌となった。

「時は春陽の佳節にして、桜侍に誓を破らんとして地は広潤なる聖地にして、神ヶ浦の風景を一時に集むる勝地なり。本日此処に船橋中学校の開校式を挙ぐる。將に盛運の祥瑞に日は昇れり」と云々(一)。

その後、千葉健吉は船橋大神宮から生徒・設備を譲り受け、一九一六(大正五年)四月、私立船橋中学校を開校した。中等学校の開設は地元船橋においても大いに歓迎された。その期や歓迎は四月八日の開校式における、当時の船橋町助役藤本秀吉の祝辞にもよく表現されている。それをつぎに掲げる。

「時を春陽の佳節にして、桜侍に誓を破らんとして地は広潤なる聖地にして、神ヶ浦の風景を一時に集むる勝地なり。本日此処に船橋中学校の開校式を挙ぐる。將に盛運の祥瑞に日は昇れり」と云々(一)。

「昭和四年に財団法人の組織にして船橋中学校として発足したが、認可を得るにまた苦勞した。文部省の普通学務局長をして西田という人を雇っていろいろの計画もたらした。一方、町の医者や財閥

の後援を得て経営したが、財閥という一定の財産がなければならぬ。その財産はない。ある時は調査に来られてひやひやしたこともあった。また教師を得るに難儀があった。幸い神道系の神宮學務局長(神宮學務局長)の厚意で知人もあったが、教員もまわして貰った。また学校は理髪方面を重んじたので物理学校(現東京理科大学)の卒業生を殊に同校の理事の厚意で雇った。しかし折角、教師を雇っても同じに更迭するので弱った。私立の学校はやはり教師を頼まないといけないが、経営困難のために教師が永くいない。随分苦しい折れた。

私立船橋中学校の校長は弁華で第五代船橋町長となつた高藤藤平であった。校長は一九三二(昭和七年)九月に選挙の五回安次郎になったが、同氏は四〇(昭和十五年)三月まで校長を務めている。この中学校(の昇格)については船橋市史編纂室所蔵の文書に一九一八年四月二日付の千葉學務部長から船橋町長宛の財団法人船橋中学校設立の件という件名の資料が「正則」添付書類が遺されていなかったので詳細は不明であるが、財政面と設備面の充実への努力、中等院在生徒の特別な奨励と配属船橋町長に求められている。これらの四点が私立船橋中学校の学校経営の課題であった。

葉健吉を知るまじった町長連には学校を後援しようという考えがあったようである。そこで一九三〇(昭和五年)にはめられたものが「財団法人船橋中学校後援会頼母子会」(以下「頼母子会」と略す)と名づけられた。これは千葉健吉(頼母子会)に頼母子会(頼母子会)の資料が一部存在している。この頼母子会規則を次に掲げる。

- 第一条 本会は船橋中学校後援会を称す
第二条 本会場所は船橋大神宮宮殿を以て之に充つ
第三条 本会は船橋中学校の設備及内容の充実を図り機運の発展を援けるを以て目的とす
第四条 本会は昭和五年 月に始り四月七月を以て満会とす
第五条 本会一株の掛金は左表によるものとす
初会より拾回まで 金一円五十銭
十一回より十回まで 金一円二十銭
十二回より二十回まで 金一円五十銭
十三回より三十回まで 金一円三十銭
三十四回より四十回まで 金一円四十銭
第六条 本会掛金は毎月四回を分ち左の期限内に集むとす
第七条 抽籤は毎月二十五日午後三時を以て行われ一鉢の取高を金百円とす
第八条 当籤者は当籤の翌月より満会まで毎月金三円つづ掛金を納むものとす
第九条 当籤者は金百円受領の簡状掛金の保障として相当保証人又は担保物件を提出するものとす
第十條 本会会長を船橋町町長とす
第十一條 本会長の指名は町長幹事若しくは副会長及び本会は財団法人船橋中学校の理事連帯責任を負ふものとす

頼母子会であるいは無尽は講組合の組織による民間の共済金庫で、一般的に公共的の資金調達を目的としたものである。頼母子講無尽は現代社会においてもおこなわれているが、戦前ほど盛んではないようである。この財団法人船橋中学校後援会の運営がわかる懸は遺されていない。具体的な後援活動については援助金額も不明であるのでこれから推測するしかない。ただ「昭和四年拾月七日現在調査書」(頼母子会)に「船橋町、寺町、東納倉、本町、三丁目、山内、漁師町、船橋、寺町、東納倉、本町、横宿、上宿、など三地区の〇〇名が参加し掛金累計五十九百四十二円三十三銭という数字がのこされている。いすけれども、千葉健吉の学校教育への熱意と船橋(市)当局や町民の私立船橋中学校の支持と後援は貴重であり、記憶されるべきものである。

「昭和四年に財団法人の組織にして船橋中学校として発足したが、認可を得るにまた苦勞した。文部省の普通学務局長をして西田という人を雇っていろいろの計画もたらした。一方、町の医者や財閥

の計画もたらした。一方、町の医者や財閥

の計画もたらした。一方、町の医者や財閥

の計画もたらした。一方、町の医者や財閥







同窓会役員名簿

Table of alumni officers with columns for name, position, and graduation year. Includes roles like 名誉会長, 顧問, 理事, 幹事, 庶務, 教頭, 事務局長, etc.

令和3年8月1日現在

Table of alumni officers with columns for name, position, and graduation year. Includes roles like 理事, 幹事, 庶務, 教頭, 事務局長, etc.

本年度の総会は例年通り学校で開催する予定でしたが、新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置期間であることと翌日からの緊急事態宣言の発令を前にして、急遽理事を対象とした議案書等資料の郵送による書面表決に切り替えました。結果、令和2年度事業・決算の報告、令和3年度事業計画・予算、役員改選、会則の改正が承認されました。

令和2年度の春の同窓会はコロナ禍の影響で中止となりました。本年度も開催日半年前である7月の段階で新型コロナウイルスの終息に目処が立たない以上準備が進められないと判断し中止を決定しました。令和2年度の収入における減額は、春の同窓会の開催中止（支出も無し）と同窓会入会金の集金時期を1年生の入学時から卒業時に変更したためによるもので、令和3年度の予算についても同様となります。

同窓会副会長 森和俊(昭和50年卒)

令和2年度決算及び令和3年度予算

Table showing financial results for FY2020 and FY2021 budget. Columns include 科目, 3年度予算, 2年度予算, 2年度決算, 元年度決算. Rows include 繰越金, 会費, 雑収入, 合計.

Table showing expenditure details for FY2021 budget. Columns include 科目, 3年度予算, 2年度予算, 2年度決算, 元年度決算. Rows include 会議費, 需用費, 後援費, 雑別及び慶弔費, 春の同窓会費, 会報及び広報費, 雑費, 予備費, 繰越額, 合計.

創立百周年記念募金事業中間報告 2021年8月31日現在. 1. 寄付金総額 1,823件 19,083,574円. 2. 支出 創立百周年記念事業実行委員会(母校) 15,000,000円. 事業継続のため今後清算される分 4,083,574円. 創立百周年記念事業実行委員会の決算は事業が継続中のため来年度に改めて報告があります。

同窓会ホームページのリニューアルを機に. 同窓会では、情報化社会におけるあるべき姿を見直しています。その一環として広報活動の改善と充実が重要と捉え「同窓会だより」と「同窓会ホームページ」の役割を見直し、それらの効果的な活用を図っていく計画です。

同窓会運営費にご協力を. 【お願い】 同窓会では、母校生徒の学生生活の支援(教育環境の改善・部活動の後援)及び卒業生の交流促進への後援を強化していきたいと考えています。そのためには皆さんの協力が必要です。同封の払込取扱票にて一口(千円)以上をお振込みください。 【ご注意】 ゆうちょ銀行の払込サービス料金の改定により令和4年1月17日以降、郵便局から現金で振り込む場合は料金(110円)が払込人様負担として加算されます。なお、ゆうちょ銀行に口座をお持ちの方がATMで通帳またはカードを利用して振り込む場合はこの追加負担は発生しません。以上ご理解の上ご協力のほどよろしくお願いたします。



『千葉県立船橋高等学校百年史』編纂小記

昭和49年卒・百年史編纂部会 山田 敏 明

『千葉県立船橋高等学校百年史』は、当初の予定どおり、令和三年三月十五日に発行することができました。編纂・発行にあたっては、同窓会の皆様をはじめ、各方面の皆様にご賛同、ご支援をいただき、感謝申し上げます。また、訂正箇所のご指摘があり、この「同窓会だより」別欄と船高HPに訂正項目を掲載するとともに、該当する方にはご不快な思いをさせてしまいましたこと、心よりお詫び申し上げます。

企画から発行まで、足かけ四年の月日を費やしました。その経緯は『百年史』の「編纂を顧みて」に記してありますので、そちらもご覧ください。『百年史』についてはブログ版も企画していると考えております。

『百年史』編纂の理念は、日本の近代・現代の変遷と世相を簡潔にまとめ、船高に在籍した生徒、職員と船高の学校組織と教育活動を具体的に記録し、この書を読んだ方が日本と船高の歴史をおしてこの百年を振り返り、現代の課題と未来への展望を考えていく一助とすることです。

この『百年史』には他校の記念誌・校史にはない四つの特徴があり、それは編纂の理念達成のためのものとお考えください。
第一の特徴はこの百年を二十五年度ごとの四期に分けた本校史としていた点です。この四期それぞれに年表編、記録編、解説編を設け、年表編では日本の主な出来事と世相の欄と本校とその近隣の欄を同時に照合できるように構成した年表編を最初に掲載したことが第二の特徴です。

創立二十五周年目は終戦の年です。五十年前の一九七〇年の二年前は、日本の国民総生産が米国に次ぐ世界二位となり、日本が欧米の近代化を目標として追いつけることが終わった年（荻谷剛彦著『追いついた近代消えた近代 戦後日本

の自己像と教育』による）とされ、公害問題、学生運動、学園紛争が激化した年であり、船高でも一九七一年前後には卒業式や文化祭に関連して紛糾したという記録があります。また、二十五年前の一九九五年にはWindowsの発売

学校教育ではパソコンとインターネットを前提とした情報教育が準備され、実施されていきます。以後、個人情報保護も法整備されていき、生徒と教師、家庭と学校の在り方も変容してきます。このような大きな社会と歴史の変遷の記載と同時に、年表編には時の船高生や職員になじみあるさまざまな近隣の変遷も掲載しました。玉川旅館、三田浜菜園、センター競馬場、船橋ヘルスセンター、BSホール、ららぽーと、東船橋駅、船橋高等学校、スクイードムS.A.W.S.N.などです。

第三の特徴は「創立五十周年記念誌『千葉県立船橋高等学校七十年史』の多くを引用していること。『五十周年誌』からは在校生、卒業生、先生方の船中・船高の草創、戦時下、再出発の熱い思いが込められた言葉、「たんなる『顕彰碑』的な記念誌にならぬ」方針で編纂されている『七十年史』から、進学校・理数科設置校として注目され、評価されるようになった船高の分析、生徒会活動、文化祭、体育祭のあり方を巡っての詳細な記録、働きつつ学ぶ古き良き時代から新しい対応を迫られる時代への定時制の変遷を掲載しました。

これらについては『百年史』に「本校史編纂を終えて 船高各記念誌・校史から見えてくるもの」としてまとめられていますので、一読していただくと幸いです。

第四の特徴は、船高独自に形成された継承して文化となったものが新型コロナナ感染対応で消滅の危機にある実態を掲載したこと。この先、学校文化の継承をいかにするかという問題提起と考えていただけると幸いです。

二〇二〇年二月末からの全国一斉休校から、全校生徒が一堂に集まることができなくなり、式や行事は中止や変更を余儀なくされ、放送やオンラインに切り替わりました。その結果、たとえは船高では校歌は美しく高らかに誇らかに唱い継がれてきたのだということを実感した生徒もいなくなりました。本校史IVは、人事や教育活動が県や国によって標準化され、特別指定され、その期待と要請を受けた船高教育の展開を記載していますが、独自の文化の継承はコロナ対応によって、ますます困難なものになっていきます。

『百年史』資料編には校歌、コロナ以前の入学式・卒業式、芸術鑑賞会、修学旅行、文化祭の内容などの一覧を残し、本校史IVとVには、コロナ以前の現況としての教育活動を詳細に掲載しました。また、二〇二〇年のコロナでの学校教育活動とその経緯は「補遺」として所収しましたが、ほんの微々たるもので、学校文化の継承の解決にはなっておりません。

最後になりますが、校史の変遷の中で、詳細を省いた事柄があります。その一つ、部活動は頁数の関係で現況に限らせていただきました。現在の部活動の盛況は、家庭の理解と支援が、昔前と大きく違っていることが一因ですが、言及できませんでした。また、守秘義務にかかわる事項については、原資料を学校に保管するに留めてありますので、ご了承ください。

この百年間の三万四千名を超える卒業生・在校生と千四百名に近い在籍職員、さらには船高に縁ある全ての方々の人生と、学校自体の歴史の、ほんの一部を『百年史』に留めました。ここから記載していない各々の貴重なドラマを思いやっていたいただけると幸いです。

百年史有償頒布のご案内
本ページの記事にあります、百周年記念事業で編纂した令和三年3月15日発行の『千葉県立船橋高等学校百年史』を、ご希望の方に有償頒布します。希望される方は、下記要領でお申し込みください。100冊程度を予定しています。

百年史有償頒布のご案内

本ページの記事にあります、百周年記念事業で編纂した令和三年3月15日発行の『千葉県立船橋高等学校百年史』を、ご希望の方に有償頒布します。希望される方は、下記要領でお申し込みください。100冊程度を予定しています。

記

1. 1冊につき費用：9,000円（百年史8,250円＋送料等750円）を、現金書留を使用して、下記宛てお送りください。なお、「百年史希望」を明記し、「郵便番号・住所・電話番号・氏名（必須）」等を必ず記載されますようお願いいたします。

〒273-0002 千葉県船橋市東船橋6-1-1
千葉県立船橋高等学校 同窓会事務局

2. レターパックを利用して送付いたします。
※事務局員は母校教員が務めており、業務が滞ることもあることをご理解ください。

お問い合わせ：千葉県立船橋高等学校 同窓会事務局
電子メール funaobog@gmail.com
ファクシミリ 047-426-0422

※事務局員である母校教員は、生徒への対応が主業務です。電話でのお問い合わせはご遠慮ください。

百年史 お詫びと訂正

百年史の記載内容に不備がございました。心よりお詫び申し上げますとともに、下記の通り、追記と訂正をさせていただきます。他にもお気づきの点がございましたら事務局までご連絡ください。

【追記】

口絵写真2頁目 前校長 安藤久彦 現校長 酒匂一揮

【訂正】

Table with 2 columns: Page number and Correction details. Includes corrections for page numbers 13, 28, 108, 109, 151, 300, 397, 507, 525, 531, 536, 575, 576, 577.

